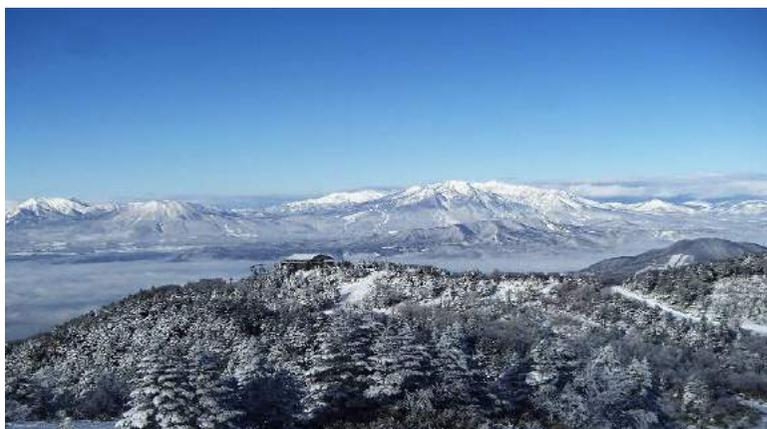


# 県連ニュース

2018年 1月号 NO-486



『志賀高原 寺小屋峰から東館山を望む』

2016. 12. 25 撮影

滋賀山友会所属 北村光雄氏提供

## 滋賀県勤労者山岳連盟

## 目 次

新年のご挨拶	2
リレーエッセイ	3
案内 第 39 回 近畿ブロック搬出技術講習会	4
探鳥ウォーキングのお誘い	7
報告 創立 4 0 周年祝賀会	
第 1 1 回 理事会議事録	9
雪崩教育シンポジウム	1 2
滋賀民報社掲載原稿（その 1 0） 転載	1 3
ぐうたら理事長のつぶやき	1 4
予 定 表	1 5
編集後記	1 6

## 新年のご挨拶

滋賀県勤労者山岳連盟  
会長 秋田 誠

新年あけましておめでとうございます。

旧年中、会員の皆さまには連盟の種々の活動に対して、ご理解とご協力を頂き心よりお礼を申し上げます。

私たちは、昨年11月26日に連盟結成40周年のお祝いの会をつつがなく開催し、本年いよいよ50周年に向けて新たな10年をスタートさせます。来るべき10年は連盟にとってどんな時代になるのでしょうか？期待と不安が入り混じる不思議な気持ちです。将来に手放して希望を持つことが難しくなっているのは私たちの連盟に限ったことではなく、政治的、経済的に不安定要因を増している世の中全般にみられる現象です。

実際この数年、私たちは会員の高齢化に伴う会員数の減少という困難な課題を抱えており、様々な手立てを講じてはいるのですが、未だに抜本的な解決をみるには至っていません。そしてこの問題は連盟の将来にじわじわと影を落としています。

しかし、ピンチはチャンスです。このような時にこそ逆転の発想で知恵を出し合い、課題を克服する糸口を見出したいものです。

本年も相変わらずよろしくお願いいたします。



伯耆大山、2017年3月

実は、昨年の秋に再開したばかりなのですが、マウンテンバイクで登山口まで走って、それから目的の山へハイキングを始めるという、ガソリン無使用のエコ登山を紹介しましょう。

例えば先日の行程では京都駅近くの自宅を7時50分に出発、左京区大原の手前、花尻橋8時50分通過、小出石の登山口到着が9時20分、自転車を杉木立にチェーンで固定してハイキングを開始し、ナツチョ頂上に11時20分到着。折り返して、12時20分下山、帰宅は13時40分。

急すぎると、歩けなくなるので、坂の登りはペースを考えて自転車を漕ぎます。しかし、ダラダラが過ぎると、全体の時間が長いので、途中で嫌になります。出発時の勢いを保つことが大切になります。脚や尻が痛んだ場合も、自転車を放っては帰れないので、がんばって漕ぎ続けるしかありません。また山の道路は日暮れが早く真っ暗になるので、遠乗り過ぎるのも考え物です。

若い時には、峠越えを二つして、久多の登山口から三国岳に登った事もありました。坊村から奥の深谷を沢登りしたこともありました。

今、還暦を過ぎて、急な登りで自転車の立ち漕ぎは続きませんが、花折峠や百井峠のヘヤピンカーブは、下りて押したら良いのです。良い年をして、ふらついて、車の運転手に迷惑をかけてはいけません。エコ登山も安全が第一です。

体力に合ったスピードと距離をよーく考えて実行に移せば、まだまだやれそうな気がします。

話は変わりますが、台風21号、22号が連続して本州に接近、上陸し、強風で山の木も多く倒れました。また、落ち葉や折れた枝のたまりのために、山道が分かりにくくなりました。ナツチョも、登山道だけで10本くらい、大木が横倒しになって道をふさぎ、腰をかがめたり膝をついたり、結構な障害になっていました。森全体が、明るくなったように感じる場所がいくつもありました。

木が倒れたのは、風の影響だけではなく、大雨で地盤がゆるんでいたことも原因していると考えられますが、超大型台風の襲来や前線活動の活発化など、地球温暖化の様相がますます明らかとなって来ている昨今、あなたも一度、エコ登山を考えてみませんか？

## 第 39 回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

### ▼尾根搬出、岩搬出、岩のセルフレスキュー

日時 2018年4月1日(日)8:00 受付開始 8:30~15:30 雨天決行、警報発令中止

集合 百丈岩やぐら奥の河原(JR 道場駅より徒歩約 30 分)

場所 百丈岩周辺

内容 吊り上げ吊り降ろし、引き上げ引き下ろしシステムのロープレスキュー、  
背負い方法等のレスキューシステムを実践で学ぶ。

コース

▶ 尾根コース・岩コース(初級者・経験者コース)

▶ 岩セルフレスキューコース

※受付にて希望コースを申し出てください。(岩セルフレスキューコースは先着 10 人  
です)

装備

▶ 尾根コース:ヘルメット\*、ハーネス\*、自己確保用装備\*、安全環付カラビナ\*、スリン  
グ\*、デ이지ーチェーン又はパス、確保器、カラビナ等

▶ 岩コース・岩セルフレスキューコース

ヘルメット\*、ハーネス\*、自己確保用装備\*、確保器\*、安全環付カラビナ\*、アブミ、  
カラビナ\*、クイックドロ\*、スリング\*、ハンマーデ이지ーチェーン又はパス\*、等

※1 \*は必須。 ※2 上記の他、各コースとも一般装備(行動食、水筒、雨具等)必要。

#### ■ 対象者

▶ 岩登りの経験があり、搬出技術の向上を目指す方。

▶ 「岩セルフレスキューコース」は搬出技術講習会参加経験者で主に岩登りをされる方  
のみとします。

▶ 新特別基金、又は、それに準じる山岳保険加入者。

#### ■ 参加費

資料代 300 円/部をいただきます。

★参加を希望される方は事前に所属会を通じて氏名・性別を各府県連盟へ連絡願いま  
す。

各府県連盟は 3 月 12 日(月)までに近プロMLに報告をお願いします。

<特記事項>

- 雨天決行です。当日の朝の7時30分時点で警報発令時は中止します。
- 訓練中の事故等に対しては自己責任での安全確保をお願いいたします。  
各コースともヘルメットのない方は参加できません。
- 前夜泊は鎌倉峡河原にてテント泊可能です。
- お車でお越しの方へ
  - 当日はたくさんの参加者が予想されます。出来るだけ公共交通機関をご利用下さい。  
車の場合は、道場駅前駐車場若しくは鎌倉茶屋管理の奥の駐車場(いずれも有料)をご利用下さい。
  - 百丈岩やぐら前は講習会場として使用しますので駐車できません。
  - 道場駅からやぐら前まで路肩駐車禁止とします。
  - 夜間遅くに来られる方は、近隣住民の方へのご配慮をお願いします。

申し込み・問合せ先

滋賀県勤労者山岳連盟救助隊事務局 友永まで

電話番号 077-524-5618 メール [yt19481013@yahoo.co.jp](mailto:yt19481013@yahoo.co.jp)

第39回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

ハイキングコース

- 日時 2018年4月1日(日)9:30 受付開始 9:50~15:30 雨天決行
- 集合・会場 尼崎市中央地区会館(阪神尼崎駅より西へ5分)  
尼崎市西御園町93番地の2 サンシビック尼崎内  
TEL:06-6413-8171
- 持ち物 山行時の装備一式  
(行動食、水筒、雨具、ストック、三角巾、スリング<120cm・60~100cm>、カラビナ等  
昼食)
- 内容 応急手当、搬出技術
- 対象者 ハイキングの山行リーダー及びハイキングでのレスキュー技術の習得を目指す方。

- 資料代 300 円/部（昨年度使用した『ハイキングのセルフレスキュー』と同内容のものを予定）

<特記事項>

- 講習中の事故等に対しては自己責任でお願いいたします。
- 軽登山靴、または運動靴で参加可能です。
- 参加を希望される方は事前に所属会を通じて氏名・性別を各府県連盟へ連絡をお願いします。各府県連盟は 3 月 12 日(月)までに近プロMLで兵庫県連へ報告をお願いします。
- 車でお越しの方へ  
会場には駐車場がありますが他団体含め多数の方が利用されると満車になります。  
会場近くのコインパーキングをお探し下さい。



<申し込み・問合せ先>

滋賀県勤労者山岳連盟救助隊事務局 友永まで

電話番号 077-524-5618 メール [yt19481013@yahoo.co.jp](mailto:yt19481013@yahoo.co.jp)

## 希望ヶ丘文化公園で探鳥しませんか！

静かな冬の園内を歩きながら、北国から渡って来た可愛い小鳥を探して歩きましょう！

コガモ、ルリビタキ、ツグミ、アトリなど！  
鳥の見方を一緒に練習しましょう！



日 時 1月24日(水) 雨天中止  
(前夜の予報で滋賀県南部降水確率  
50%以上の時は中止)

集 合 9時10分 「希望ヶ丘西ゲート」  
近江鉄道バス停前

↑ルリビタキ

西ゲート前に有料P有 森林センター(徒歩10分)に無料P有  
電車で来られる場合は「野洲駅」(南出口)から近江鉄道バス

「花緑公園」行 8:57 発乗車～「西ゲート」9:06 着

又は守山駅東口 8時30分集合 3名まで分乗できます。(要連絡)

コース 西ゲート～山上ダム～野外活動センター～楓の森～中央道～西ゲート  
平坦地(多少アップダウンあり) 約6K 解散14:00 予定

持ち物 双眼鏡・鳥図鑑、雨具、防寒対策、昼食、飲物、

参加連絡 滋賀山友会 小枝琢三 \*氏名、住所、電話番号をお知らせ下さい  
携帯 090-5679-6223 メール yatyo2014@hb.tp1.jp

## 滋賀県勤労者山岳連盟 創立40周年記念レセプション 報告

1. 日 時 2017年11月26日(日)午前11時00分～午後3時00分
2. 場 所 大津市立市民文化会館
3. 参加者 62人

来賓：浦添嘉徳氏(日本勤労者山岳連盟理事長)、澤山恵氏(滋賀県山岳連盟副会長)、園敏雄氏(大阪府勤労者山岳連盟理事長)、横井功氏(京都府勤労者山岳連盟理事)、吉谷隆男氏(兵庫県勤労者山岳連盟理事長)、水田哲生氏(奈良県勤労者山岳連盟理事)、星利三氏(新日本スポーツ連盟滋賀県連盟副理事長)

OB役員：寺川庄蔵氏(元滋賀県勤労者山岳連盟会長)  
大塚次郎氏(元滋賀県勤労者山岳連盟副会長)  
西村政彦氏(元滋賀県勤労者山岳連盟副事務局長)

会員：滋賀山友会 9人、湖南岳友会 6人、比良雪稜会 22人、  
ちごゆり山歩会 10人、彷徨倶楽部 3人、シャクナゲ遡行クラブ 2人、

#### 4. 内容

- |            |                           |                                   |
|------------|---------------------------|-----------------------------------|
| (1)司会挨拶    | 県連事務局長                    | 北村昌文                              |
| (2)主催者挨拶   | 県連会長                      | 秋田誠                               |
| (3)来賓ご祝辞1  | 日本勤労者山岳連盟<br>滋賀県山岳連盟      | 浦添嘉徳氏<br>澤山恵氏                     |
| (4)乾杯(の音頭) | 県連事務局長                    | 北村昌文                              |
| (5)表彰式     | 比良雪稜会<br>ちごゆり山歩会<br>湖南岳友会 | 西村高行氏<br>柴田英男氏<br>村田啓二氏<br>重井美佐男氏 |
- (7)来賓ご祝辞2 近畿ブロック各府県連代表  
※大阪労山→京都労山→奈良労山→兵庫労山の順にご祝辞
- (8)祝電・メッセージの紹介
- (9)加盟各会紹介&出し物  
※滋賀山友会→湖南岳友会→比良雪稜会→ちごゆり山歩会  
→彷徨倶楽部→シャクナゲ遡行クラブの順に紹介と出し物
- (10)OB役員の思い出話  
寺川庄蔵氏→大塚次郎氏→西村政彦氏
- (11)歌声 アコーデオンの中島英雄 歌 友永芳和、池田信一
- (12)記念写真・撮影
- (13)閉会

#### 5. まとめ

- (1)参加者は来賓7名、OB役員3名、各会員より52名の総勢62名が参加し、盛大に開催された。
- (2)来賓からの挨拶に関しては、対外的には平和と登山の関係が出され、内部的には登山者の高齢化や会員数の減少の問題が出された。そうした中、楽しい登山と登山文化の創造を目指して研究集会の開催について言及された。  
主催者の挨拶では、日本の平均寿命が男性も80才を超え女性も86才を超えたが、健康寿命は72才である。健康寿命に関して登山は健康と山登りの楽しさを教えてくれた諸先輩に感謝して行きたいという主旨の話があった。
- (3)加盟各会紹介&出し物では、オカリナの演奏や合唱の取り組みがあり盛り上がった。
- (4)事務局は9時に集合して11時開催に向けて会場設営に尽力した。  
料理については13時30分の時点でも残っていたので十分な量は確保された。

以上

## 2017年度第11回理事会報告書

12月6日(水)19:00 - 20:30

於:県連事務所

司会:北村昌

記録:奥野

出席:秋田、北村、友永、奥野、中島、堀部、東郷、長谷川、高玉、池田、宮内、乾、  
今村 (理事会定数14名)

欠席:(連絡あり)川端

議題:

### 1 創立40周年祝賀会(40周年記念行事)(報告)

- ・祝賀会 11/26(日)大津市立 市民文化会館で実施
- ・参加者→山友会 9名、雪稜会 22名、岳友会 6名ち ごゆり 10名、彷徨倶楽部 3名、  
シャクナゲ遡行クラブ 2名  
全国連盟(1名)、近畿ブロック(4名)、岳連(1名)、県連OB役員(3名)、  
新日本スポーツ連盟滋賀県連(1名) 合計 62名
- ・お礼状→来賓・メッセージ寄稿者→メールかハガキで対応 しおりは各会々員に配布
- ・会計報告:スタッフの交通費は特別会計からではなく、一般会計から支出
- ・報告書:県連ニュースに掲載 記録:メモリーにして保管

### 2 総会議案書草稿作成(依頼)

- ・2017年度活動報告/2018年度活動計画の草稿を北村まで提出(期限:12/20)  
教育部(乾)、自然保護部(中島)、遭難対策部(今村)、機関紙部(奥野)、組織部(池田)  
財政部(宮内)、救助隊(秋田)、CSS(北村)、SKI-NET(北村)
- ・教育部と遭難対策部の統合について(提案)次年度  
事務局の仕事が繁雑なため、事務局員を増員したい  
会則に抵触しない範囲で教育部と遭難対策部を統合(教育遭対部)し人員を3名とする  
組織部の人員は1名とし余剰人員を事務局員に。

- ・来季の役員体制と任務分担見直しについて 清掃登山ほか  
従来は自然保護部が担当・集約 理事会内で担当部署を明確にする

・総会までの日程(案)

- 1/10(水) 第 12 回理事会:議案検討-1(今年度の事業報告)
- 1/24(水) 第 13 回理事会:議案検討-2、決算案検討(次年度の計画案と会計報告)
- 2/7(水)代表者会/第 14 回理事会:議案検討、決算・予算案検討
- 2/14(水)議案書印刷、製本、発送(2/20 頃の機関紙発送と同時が望ましい)
- 3/7(水)第 15 回理事会:総会準備、(資料集印刷)当日持参のため直前で OK
- 3/11(日)総会(滋賀県スポーツ会館)

### 3 各部報告

**組織:**会員数動向(前年度末対比 216/222 97.2%)

山友	岳友	雪稜	彷徨	ちごゆり	シャクナゲ
80/80	54/53	45/45	15/15	17/17	5/5
合計 2017.11E/2017.10E					
216/215 100.4%					

- ・男女別会員数 山友会(43/37)、岳友会(31/23)、雪稜会(28/17)彷徨(7/8)、ちごゆり(9/8)、シャクナゲ(3/2)、友永理事長より全国連盟へ報告

**教育部:**今年度のハイキングセミナー報告

- ・3回に分けて実施 5名参加 会計報告は別紙 目標のリーダー養成には至らず
- ・次年度は一般向けのハイキングセミナーを開きたい

**自然保護部:**

- ・リニア新幹線反対署名について 12/6 現在 64 筆 全国連盟の目標は 3 万筆
- ・滋賀県連としては 500 筆を目標に設定 総会時に報告できるよう手配
- ・近畿ブロック自然保護会議 1/12(金) 大阪労山事務所にて開催予定

**機関紙部:**県連ニュース 1月号原稿締切り 12/15 印刷・発送 12/20

- ・ 県連ニュースの号数の誤り(1996年8月No.229→9月No.300)を次号で訂正表記する

## 救助隊:

- ・安全登山講習会会計報告(別紙参照)
  - ・11/30 来季近畿ブロック搬出訓練打合せ 兵庫県連事務所 兵庫が主体
- CSS:**12/12日(火) 雪山基礎講座2オリエンテーション(於:県連事務所)
- SKI-NET:**妙高ゲレンデスキー

**財政部・遭難対策部**・は特記事項なし

## 4 その他

- ・雪崩教育シンポジウム 11/22 全国連盟事務所→参加者 50名 秋田会長出席  
全国連盟&各ブロックで雪崩講習会を実施しているが依然として雪崩事故が無くならない  
3月の那須岳大量雪崩遭難事故・2016年11月の立山雪崩事故を中心に話し合われた  
具体的対策はでなかったが雪崩地図を作成してリーダーに認識させる。
- ・2018年度近畿ブロック搬出訓練打合せ 11/30 兵庫県連事務所→友永理事長出席  
2018年4月1日(日)実施 滋賀県連は2班体制 講師1名、スタッフ1名×2班
- ・「新特別基金」関西実務講習会 12/9 京都労働者総合会館は中止
- ・全国雪崩講習会 2018/2/10~12 千畳敷カール 全国の講師となるための講習  
近畿ブロック理論講習 11月25日(土)、実技Ⅰ 1月20日(土)~21日(日)
- ・全国連盟第33回総会 2018/2/17~18 東京 ホテルコンチネンタル→友永出席予定
- ・リニア新幹線反対署名については、県連として500筆を目標とする
- ・滋賀民報社から広告を掲載してほしい旨の連絡あり→理事会了承
- ・来年度に向けて勧誘チラシを作成(提案) 担当は組織部で案を作成

・ 次回 第12回理事会 1月10日(水)19:00 ~

## 雪崩教育シンポジウム報告

救助隊 秋田 誠

全国連盟は、毎年全国各地域で講習会を開催して、雪崩事故を防ぐための知識と技術の普及に努めている。しかし、雪崩遭難は依然として頻発しており、最近でも本年3月27日に栃木県茶臼岳（標高1,915m）で、春山訓練中の高校生7名と引率教師1名が雪崩事故により死亡するという痛ましい遭難が発生している。雪山シーズンを真近に控え、全国連盟の呼びかけで雪崩教育に関するシンポジウムが開催された。

### ■雪崩教育シンポジウム

日 程：2017年11月22日（水）19:00-21:00

会 場：日本勤労者山岳連盟事務所（東京）

参加者：約50名

雪崩教育関係者、全国各都道府県連盟の救助隊関係者、その他

事例報告：過去の雪崩遭難の事例報告をもとに話し合いがおこなわれた。

#### (1) ハヶ岳・阿弥陀岳中山沢（1982年3月、12名死亡）

降雪直後の積雪が不安定になっている沢筋のルートに、新人を含めた多人数のパーティーが立ち入り新雪表層雪崩を誘発した。このルートでは過去にも雪崩による大量遭難が発生しており、積雪期の立ち入りには慎重な状況判断が求められている。雪山に限らず、リーダーには山行ルートにおける過去の事故例を情報として把握しておくことが求められる。

#### (2) 立山・真砂岳大走沢（2016年11月、2名死亡）

付近に居合わせた杉並労山パーティー（東京都連盟）が事故を目撃し、現場における救助に参加した。遭難パーティーは不安定に雪が積もった斜面に進入し、面発生乾燥雪崩を誘発したものと考えられる。当日、雷鳥沢テント場の上部でも小規模な雪崩が観察されており、杉並労山パーティーは新雪により雪崩の危険が増していると判断し、危険回避のため尾根筋のより積雪が安定したルートを登高していた。当日、天候は良かったが前日の降雪で尾根を若干はずした斜面においても、刺激を与えると雪面が大きく板状に崩れ落ちるほど積雪は不安定な状態だった。雪山におけるルート選定には積雪状況を把握し雪崩の危険を回避するための知識と経験が強く求められる。

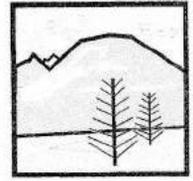
#### (3) 那須・茶臼岳（2017年3月、8名死亡）

栃木県高等学校体育連盟登山部の春山安全登山講習会における表層雪崩による遭難。天候悪化のため当初の計画をラッセル訓練に変更して行動した結果、茶臼岳中腹の「天狗の鼻」と呼ばれる岩場下部より発生した表層雪崩に巻き込まれ、安全登山を学ぶべき講習会で多くの犠牲者を出してしまった。講習会全体における責任体制が整備されておらず、計画変更の際の意思決定方法や決定事項の伝達方法が不明確であった。毎年実施されてきた伝統的行事であることから生じる慣れにより、講習会の計画について安全確保の観点からの検討が不十分であった。アバランチビーコン、シャベル、プローブなど、雪崩に対応した装備を携行しておらず、埋没した生徒の捜索・救出が迅速にできなかった。引率教師の雪山に関する知識、経験と技術水準が適切なものであったか甚だ疑問である。

雪崩事故をなくす方策：

抜本的な方策は見当たらない。講習会を通じて地道に知識と技術の普及を図ることが最も重要である。各山岳での雪崩地図を作成し、誰でも容易にアクセスできる情報として普及させることが重要。

## いろいろな山と登山

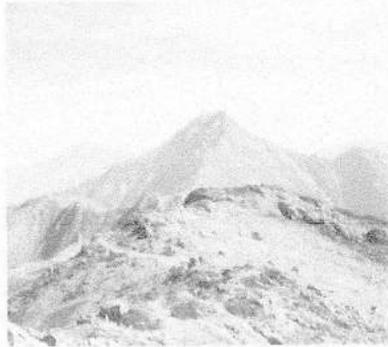


# 登山教室

山を安全に楽しむための

滋賀県勤労者山岳連盟

友永 芳和



南アルプス「北岳」



「岩登り」北アルプス剣岳にて

## 豊かな森林に恵まれている日本の山

日本で一番高い山は「富士山」だと皆さんご存知ですね。では2番目に高い山は？それは南アルプスの「北岳」です。反対に一番低い山は大阪南港にある「天保山」で標高5m。ただ残念なことに天保2年に人工的に造られた山です。自然に出来た山で一番低いのは、仙台市にある「日

和山」で6mです。地図に載っている日本の山は1万5000以上ありますが、名前のない山も含めると膨大な数になります。まさしく日本は山国です。

### 日本の山の特徴

日本の山の特徴は豊かな森林に恵まれていることです。森の木々が水を浄化し清流で透明な水を私たちが登山者にもたらしています。それが日本独特の山登り「沢登り」を生んでいます。流れを遡りながら、次々に現れる滝を眺め、攀じ登って進んで行くのは胸がワクワクします。

また日本は四季折々の山登りも提供してくれます。春は高山では残雪の山を、低山では春を呼ぶ花々の山を楽しめます。夏は日本アルプスをはじめ比較的安全に登ることが出来ます。秋は紅葉の山々と、高山では初雪に飾られた紅葉も見ることが出来ます。冬は雪が積もって厳しくなりますが、樹氷や霧氷など雪と氷が織りなす様々な風景が楽しめます。穂高岳や剣岳を始めとして各地の岩場では「岩登り」も楽しめます。「岩登り」はオリンピック競技になり、フリークライミングが盛んになっています。健康と体力維持に高齢者でも楽しめます。

### 滋賀県の山

滋賀県の標高1000m以上の主な山は、「伊吹山」「金養岳」「御池岳」「雨乞岳」「武奈ヶ岳」「御在所山」「蓬萊山」「竜ヶ岳」「霊仙山」「緋向山」などです。比較的登り易いのは、山頂のすぐ下まで車道のある伊吹山、びわ湖アルプスが話題の蓬萊山、坊村からの武奈ヶ岳、標高に合わせて11月10日にイベントを行う緋向山などです。

低い山でも、岩降や奇岩でアルプスの景観が楽しめる金勝アルプスや湖南アルプス、菅原道真が再興した菅山寺のある奥枯ノ峰なども、楽しい山です。

登山はそれぞれの体力と力量に応じて一生出来るものです。皆さんも登山を始めませんか？

## ぐうたら理事長のつぶやき

祝賀会も皆様にご協力で 62 名の参加を得て無事に終える事ができました。ありがとうございます。改めて 40 年の歴史の重みを感じるとともに、これから先の滋賀県連の活動にさらなるご協力、ご助力をお願いします。

これから来期へ向けての議案書作りが始まります。来期は教育部と遭難対策部の統合や事務局員を置くなど少し組織体制を改めようと思っています。さまざまな課題が解決できないまま今年度も終わってしまいます。理事会の力不足を皆様のお力でなんとか補っていただいで活動が続けられています。今後ともよろしくをお願いします。

久し振りにレコードでも聴こうかと、目をつぶって選んだら「マルコポーロの冒険」という小椋佳さんのレコード出てきました。確か遙か昔にNHKが放映したアニメだったと記憶しています。その挿入歌と主題歌が収められています。マルコポーロは初めて日本が「ジパング」として登場した「東方見聞録」の作者です。父ニコロ、叔父マティオと 3 人で行った 25 年にわたる旅の記録です。

「大空から見れば」「大地は」「黄金のピサ」など懐かしく聞きました。私も今よりはずいぶん若かったので、マルコポーロのようなシルクロードの旅に憧れて中央アジアの本など読んだものでした。特にアフガニスタンのワハン谷にはぜひ行きたいと思ったのですが、今となっては生きているうちにに行ける可能性はありませんネ。死んでもいいから行くななんて気持ちもありませんが。

「黄金のピサ」というのは「ジンギスカン」の孫である「フビライカン」が与えた一種の通行証で、それを持っていればヨーロッパから中国までフリーパスで通れたという絶大な力があるもので、当然ごく一部の人間しか持てなかったものです。マルコポーロの父であるニコロポーロも、大きな力を持った人間(商人)である事がわかります。17 歳で旅に出て 42 歳で帰ってきたマルコポーロにとって、故郷は浦島太郎状態だったでしょうネ。逆に故郷のほうに珍しかったかもしれません。

私も久し振りに「東方見聞録」をもう一度読んでみようかなと思っています。

1 月は近江富士「三上山」に登りましょう。富士山と同じように山腹を 1 周するお中道も歩きましょう。1 月 20 日(土)8 時野洲駅集合にします。

野洲駅～表登山口～三上山～打越～お中道～裏登山口～野洲駅コースです。

参加していただける方は 1 月 16 日までに友永まで連絡してください。

電話番号 077-524-5618 メール [yt19481013@yahoo.co.jp](mailto:yt19481013@yahoo.co.jp) です。

## 行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
1			1	1	比良・権現山	山友
				1	初日の出山行/権現山	雪稜
	6-7	雪山基礎講座-2(1) (福井嶺北・荒島岳)		3	新春登山 武奈ヶ岳	彷徨
	6-8	野沢温泉スキー(スキーネット)		7	愛宕山・新年会	岳友
	10	第12回理事会		7	比良 武奈ヶ岳	ちご
				8	京都・愛宕山	山友
				13-15	志賀高原ゲレンデスキー	山友
				13	浜松・井伊谷ウォーキング	山友
				14	新春山行/武奈ヶ岳	雪稜
	19-22	ニセコスキー(スキーネット)		18	ミーティング	彷徨
		20~21	比良テント泊	岳友		
		21	京都 愛宕山	ちご		
24	第13回理事会	21	京都西山・ポンポン山	山友		
		27	ミーティング	岳友		
26-28	雪山基礎講座-2(2) (福井嶺南・野坂岳～赤坂山)	27-28	雪中テント泊/八雲ヶ原	雪稜		
		28	比良・蛇谷ヶ峰	山友		
2			2	3	能登川・伊庭内湖、探鳥ハイク	山友
	2-4	雪山基礎講座-2(3) (湖北・三重嶽～武奈ヶ嶽)		4	大阪・犬鳴山	山友
				4	2月例会 場所未定	岳友
				4	蓬萊山～長池	雪稜
	7	代表者会		4	京都トレイル	ちご
	7	第14回理事会				
	10-12	全国雪崩講習会		9-18	ニュージーランド北島の山	彷徨
				11	打見山～荒川峠	雪稜
	17-18	全国連盟第33回総会		15	ミーティング	彷徨
		15	運営委員会	岳友		
		18	伊吹山	岳友		
		18	第39回定期総会	雪稜		
		18	おまかせ山行(未定)	ちご		
		18	湖北・虎子山	山友		
24-25	雪山基礎講座-2(4) (奥美濃・大日ヶ岳)	24	ミーティング	岳友		
		25	ふれあいの森	雪稜		
3			3			
	2-4	雪山基礎講座-2(5) (湖北・土蔵岳～猫ヶ洞)		4	蛇谷ヶ峰	岳友
				4	おまかせ山行(未定)	ちご
	11	県連総会、第1回理事会				
				15	ミーティング	彷徨
23-25	雪山基礎講座-2(6) (中ア・金懸小屋～木曾駒岳)	18	定期総会&ミーティング	岳友		
		18or25	おまかせ山行(未定)	ちご		
		21	3月例会(場所未定)	岳友		
		25	湖北・上谷山	山友		

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀

新年あけまして  
おめでとうございます

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

気持ちも新たに、新年の抱負を述べさせていただきます。

(私事で恐縮ですが)

1. 『和顔愛語』

近頃、めっきり不満や愚痴が増えてきた自分につながりしています。「水のごとくしなやかに生きたい。」と思っていたのに、いつの間に心にゴミが溜ってしまったのでしょうか。溜められた？いやいや他人のせいにははいけません。受け流すことも必要です。

和やかな表情で優しい言葉がけができるように、心がけたいです。

2. 『ちょっと待て！その一口がブタになる』

長年の課題であるにも関わらず、逃げてきたダイエットです。そこそこ運動（自転車通勤・山登り・体操教室）をしていますが、何でも美味しく、たくさんいただいてしまいます。上記のスローガンを肝に銘じたいと思います。

- ・怖がらないで体重計にのる
- ・夕食を早めにとる（孤食に慣れる）
- ・間食は 200 kcal まで
- ・腹筋 10 回

三日坊主にならないよう頑張ります。



機関紙部 山野ひるね



原稿の投稿先（2月号は2018年1月15日〆切）

メールアドレス [okunoyutaka@yahoo.co.jp](mailto:okunoyutaka@yahoo.co.jp) まで

原稿はB5サイズ、フォント10~10.5で、使用する写真は  
200KB以内として下さい。皆様のご協力をお願い致します。

※ 県連ニュースの1996年8月号№229号から同年9月号が№300号になっているのご指摘がありました。誤って表記されていたようですので、40周年を機に改めて2018年1月号から486号と訂正表記させていただきます。

「県連ニュース」№486

発行日 2017年12月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

〒520-0836

大津市杉浦町9-30

Tel 080-4971-6231

Eメール [shigarosan@gmail.com](mailto:shigarosan@gmail.com)

<http://shigarousan.jimdo.com/>

ゆうちょ銀行(店名418)普通0239956

発行責任者 友永芳和

編集委員 奥野 豊

高玉 敬子

東郷 京子